

# 特別プログラム

\*本号(( )内)のページ数を掲載しております。

プログラム／抄録

---

会長招請プレナリーセッション .....	P.21	P. 85
市民公開講座 .....	P.21	P. 88
総会・評議員会・学会賞・授賞式・授賞発表 .....	P.22	—
シンポジウム .....	P.23	P. 89
公開シンポジウム .....	P.27	P.120
特別レポート .....	P.28	P.133

---

共催セミナー .....	P.29	P.135
共催セミナー（昼食付き） .....	P.31	P.140

---

日本エイズ学会認定講習会 .....	P.35	P.154
HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師講習会 .....	P.36	P.156

---

※セッション別に掲載しております。

# 会長招請プレナリーセッション

■日時：11月21日(木) 14:50～16:50

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

## 会長招請 プレナリーセッション

『HIV/AIDSなき世代をめざして：

Toward the HIV/AIDS-free Generation』

座長 満屋 裕明 (熊本大学医学部)

■演者：

プレナリー 1)

### Science and Serendipity in Antiviral Drug Discovery.

Raymond F. Schinazi PhD, DSc.

Center for AIDS Research, Laboratory of Biochemical Pharmacology, Department of Pediatrics, Veterans Affairs Medical Center/Emory University School of Medicine

プレナリー 3)

### HIV Latency: The Challenge of a Cure

Douglas D. Richman, M.D.

VA San Diego Healthcare System and University of California San Diego Distinguished Professor of Pathology and Medicine Director, Center for AIDS Research Florence Seeley Riford Chair in AIDS Research

プレナリー 2)

### HIV 母子感染対策におけるわが国の努力とその成果

— 諸外国の実状と比較して —

稲葉憲之

獨協医科大学 学長

## 市民公開講座

■日時：11月22日(金) 14:50～16:20

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

## 市民公開講座

HIV/AIDSなき世代をめざして

座長

松下修三 (熊本大学エイズ学研究センター)  
田原克志 (厚生労働省健康局疾病対策課)

■演者：

市民公開 -1)

### AIDS を更に追いつめる：抗ウイルス薬研究開発を通じた HIV とのたたかい

満屋裕明

熊本大学生命科学研究部、  
国立国際医療研究センター・臨床研究センター

市民公開 -3)

### 早期治療開始が予防になる：世界の潮流

岡 慎一

国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター

市民公開 -2)

### スティグマの克服をめざして

— さしだす、ささえる、よりそう NGO 活動

池上千寿子

特定非営利活動法人ぶれいす東京

■日時：11月21日(木) 13:50～14:50

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

## 議 題(案)

### 報告及び審議事項

1. 会員現況
2. 2012年度収支決算及び2014年度収支予算案について
3. 日本エイズ学会誌刊行状況
4. 理事会報告
5. 学会認定制度について
6. 次期(第28回)日本エイズ学会学術集会・総会準備状況
7. 第29回日本エイズ学会学術集会・総会会長の選出
8. その他

### 授賞式・受賞発表

第14回日本エイズ学会ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞授賞式

第10回日本エイズ学会・学会賞授賞式(正式名称は当日お知らせします)

受賞記念講演

(本会議の議題は、学会前日の理事会で決定後、総会の前にお配りします。)

# シンポジウム

■日時：11月20日(水) 16:10～17:40

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

<b>シンポジウム1 (臨床)</b>	<b>HANDの診断と治療</b>	<b>座長</b> 岡 慎一 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター) 山本政弘 (国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科)
-------------------------	-------------------	-------------------------------------------------------------------------------------

■シンポジスト：

S1-1) HANDの診断と治療

岸田修二  
初石病院神経内科

S1-3) HANDの鑑別診断と支援

辻麻理子  
国立病院機構九州医療センター

S1-2) HANDのスクリーニング検査

—臨床現場で活かすために—  
小松賢亮

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発  
センター、公益財団法人エイズ予防財団

S1-4) HANDの診断・治療・支援

健山正男  
琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学

■日時：11月20日(水) 16:10～17:40

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール 2階 大会議室)

<b>シンポジウム2 (基礎)</b>	<b>エイズ分野における細胞性免疫 研究の進展</b>	<b>座長</b> 滝口雅文 (熊本大学エイズ学研究センター) 俣野哲朗 (国立感染症研究所エイズ研究センター)
-------------------------	---------------------------------	-------------------------------------------------------------

■シンポジスト：

S2-1) HIV持続感染成立阻止に結びつく細胞性  
免疫機序：サルエイズモデルにおける解析

俣野哲朗  
国立感染症研究所エイズ研究センター

S2-3) 日本人 HIV-1感染者で見られる HIV-1  
増殖抑制能に関する細胞傷害性 T 細胞

村越勇人  
熊本大学エイズ学研究センター

S2-2) 弱毒 SIV 生ワクチン免疫ザルおよび SIV  
感染エリートコントローラーにおける  
細胞性免疫によるウイルス制御

深澤嘉伯  
Vaccine and Gene Therapy Institute, Oregon National  
Primate Research Center, Oregon Health & Science  
University, Beaverton, Oregon, USA.

S2-4) HIV-1と長期共生する新規宿主細胞の同定

鈴 伸也  
熊本大学エイズ学研究センター

# シンポジウム

■日時：11月20日(水) 18:00～19:30

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール 2階 大会議室)

## シンポジウム3 (社会)

MSMの感染予防とその課題  
～多角的な視点から考える

座長 生島 嗣 (特定非営利活動法人ふれいす東京)  
市川誠一 (名古屋市立大学)

■シンポジスト：

S3-1) 行政の統計から見えること  
～エイズサーベイランス動向委員会報告  
／身体障害手帳取得状況  
岩橋恒太  
(名古屋市立大学)

S3-2) web 調査から見えること ～性行動、  
検査行動、予防行動、薬物使用  
日高庸晴  
(宝塚大学)

S3-3) バー調査から／検査機関の調査から  
見えること  
～性行動、検査行動、予防行動、中高年  
が検査にいかない理由  
市川誠一  
(名古屋市立大学)

S3-4) セクシュアルマイノリティ対象の  
クリニックにて見えること  
～検査と治療  
井戸田一朗  
(しらかば診療所)

S3-5) HIV 陽性者の web 調査から見えること  
～依存症とその課題  
井上洋士  
(放送大学)

■日時：11月20日(水) 18:00～19:30

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館 6階 ホール)

## シンポジウム4 (社会)

地方都市におけるHIV陽性者、  
そのサポートは？  
～プライバシー守秘と孤立解消の  
取り組み、九州・沖縄での  
トライアルを通して～

座長 岳中美江 (特定非営利活動法人 CHARM)  
高久陽介 (特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者  
ネットワーク・ジャンププラス)

■シンポジスト：

S4-1) 鹿児島における HIV の今後  
～陽性者の視点から～  
今村葉子  
NPO Rin かごしま

S4-2) 福岡における HIV 陽性者交流会の試行  
と展望  
戸川貴一朗  
Love Act Fukuoka/ 公益財団法人エイズ予防財団

S4-3) 沖縄・陽性者ミーティングの運営システム  
與那嶺敦  
沖縄県臨床心理士会 HIV ワーキンググループ

# シンポジウム

■日時：11月21日(木) 9:00～10:00

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

<b>シンポジウム5 (社会)</b>	Global epidemic and local access to cART in the era of TasP 世界におけるHIV/AIDSの実態とTasP時代のHIVの予防啓発の取り組み	座長 Shigeki Takemoto (Clinical Laboratory Department, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center) Wataru Sugiura (Department of Infectious Diseases and Immunology, Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center)
-------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■シンポジスト：

S5-1) ～ S5-3)

Participants of JICA training course '3<sup>rd</sup> Prevention and Control Measures of AIDS for Next Decade'.

S5-4) **Effective antiretroviral therapy in the era of TasP**

Kimiyo Kikuchi

Department of Community and Global Health, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

■日時：11月22日(金) 10:10～11:40

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール 2階 大会議室)

<b>シンポジウム6 (基礎)</b>	新しい抗エイズ治療を目指した基礎研究:若手研究者によるアプローチ	座長 塩田達雄 (大阪大学微生物病研究所) 馬場昌範 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)
-------------------------	----------------------------------	--------------------------------------------------

■シンポジスト：

S6-1) 中和抗体と抗CCR5阻害薬 (Env)

桑田岳夫

熊本大学エイズ学研究センター

S6-2) Tat/Cyclin T1 の相互作用を標的とする薬剤 (Tat)

濱崎隆之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

S6-3) HIV-1 Capsid 蛋白 (CA) の挿入変異がもたらすCA自己崩壊の分子機構の解明およびCA阻害活性を有する低分子化合物の検索・同定

天野将之

熊本大学医学部血液内科学・膠原病内科学・感染免疫診療部

S6-4) Vif/APOBEC3 を標的とする治療薬開発の戦略 (Vif)

岩谷靖雅

(独) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

# シンポジウム

■日時：11月22日(金) 10:10～11:40

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館 6階 ホール)

## シンポジウム7 (臨床)

なかなか減少しないHIV感染妊娠・  
いまだ散発発生するHIV母子感染

座長 稲葉憲之 (獨協医科大学)  
和田裕一 (国立病院機構仙台医療センター)

### ■シンポジスト：

S7-1) 妊婦 HIV 検査の現状と課題

吉野直人

岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野

S7-2) わが国における HIV 感染妊娠の動向と  
近年の特徴

喜多恒和

奈良県立奈良病院周産期母子医療センター兼産婦人科

S7-3) HIV 感染女性から出生した児 (子ども)  
の罹病について

外川正生

大阪市立総合医療センター小児医療センター小児総合  
診療科・小児救急科・厚生労働科学研究費補助金エイズ  
対策研究事業・HIV 感染妊婦から出生した児の実態調査と  
健康発達支援に関する研究分担任

S7-4) 女性 HIV 感染者への療養支援  
～性感染症予防と妊娠について～  
塩田ひとみ

独立行政法人国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・  
研究開発センター

### ■趣旨の解説：

塚原優己

国立成育医療研究センター周産期センター 産科

■日時：11月22日(金) 13:10～15:10

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館 6階 ホール)

## シンポジウム8 (看護)

HIV陽性者にとって医療者による  
精神的支援とは？

大野稔子 (北海道大学医学部附属病院)  
座長 前田ひとみ (熊本大学大学院生命科学研究部  
看護学講座)

### ■シンポジスト：

S8-1) 看護者による精神的支援とは？

本城綾子

国立病院機構 刀根山病院

S8-2) 「精神的支援」ということばをめぐって  
臨床心理士が考えること

仲倉高広

国立病院機構 大阪医療センター臨床心理室

S8-3) 患者有志

# 公開シンポジウム

■日時：11月21日(木) 17:00～19:00

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館 6階 ホール)

<b>公開 シンポジウム1</b>	エイズと悪性腫瘍	岡田誠治 (熊本大学エイズ学研究センター) 座長 加藤哲朗 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 感染制御部)
-----------------------	----------	------------------------------------------------------------

■挨拶：

木村 哲  
公益財団法人エイズ予防財団 理事長

■シンポジスト：

公開 S1-1)

エイズと悪性腫瘍

岡田誠治  
熊本大学エイズ学研究センター

公開 S1-2)

悪性リンパ腫と HIV 感染

永井宏和  
(独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター  
血液腫瘍研究部

公開 S1-3)

HIV-1 感染者に合併した肺がんの国内の  
現状

大熊裕介  
がん・感染症センター都立駒込病院呼吸器内科

公開 S1-4)

「HIV と悪性腫瘍」  
～ヒトパピローマウイルス

川名 敬  
東京大学医学部附属病院 女性外科

公開 S1-5)

肝細胞がんの予防と対策

四柳 宏  
東京大学医学部附属病院 感染症内科

公開 S1-6)

エイズと悪性腫瘍 “今後の展望”

加藤哲朗  
東京慈恵会医科大学附属柏病院感染制御部

■主催 (公財)エイズ予防財団(平成25年度厚生労働科学  
学研究費(エイズ対策研究推進事業)研究成果等  
普及啓発事業(国民向け))

■共催 日本エイズ学会

■日時：11月22日(金) 13:10～14:40

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

<b>公開 シンポジウム2</b>	治療と社会的偏見の解消	長谷川博史 (特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者 ネットワーク・ジャンププラス) 座長 大平勝美 (社会福祉法人はばたき福祉事業団)
-----------------------	-------------	----------------------------------------------------------------------------

■シンポジスト：

公開 S2-1)

HIV 陽性者の医療に対するニーズ調査  
から

高久陽介  
特定非営利活動法人  
日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

公開 S2-2)

スティグマの解消は今なお優先課題

生島 嗣  
特定非営利活動法人ぶれいす東京

公開 S2-3)

患者から見る、検査と治療 長期服薬の  
不安

後藤智己  
社会福祉法人はばたき福祉事業団

公開 S2-4)

医療従事者における課題

健山正男  
琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学

公開 S2-5)

HIV 陽性者の声の「みえる化」と「チカラ化」  
をめざす HIV Futures Japan プロジェクト

井上洋士  
放送大学慢性看護学、健康社会学分野



# 特別レポート

■日時：11月21日(木) 18:00～19:00

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール 2階 第5+6会議室)

## 特別レポート

HIV感染と肝移植

—欧州 High Volume Center より—

座長 江口 晋 (長崎大学大学院 移植・消化器外科)

■演者：

**Is Liver Transplantation Feasible in  
Patients Coinfected With Human  
Immunodeficiency Virus and Hepatitis  
C Virus?**

Umberto Baccarani, MD, PhD, FEBS

Assistant Surgeon & Clinical Researcher Department of  
Medical & Biological Sciences, University of Udine, Italy

# 共催セミナー

■日時：11月20日(水) 16:10～17:40

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館 6階 ホール)

**共催セミナー 1** 超困難症例に対するアプローチ 座長 青木 眞 (感染症コンサルタント)

KS1-1 渡邊 大 共催：MSD 株式会社  
国立病院機構 大阪医療センター 臨床研究センター  
エイズ先端医療研究部 HIV 感染制御研究室

KS1-2 椎木創一  
沖縄県立中部病院 感染症内科

■日時：11月21日(木) 10:10～11:40

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

**共催セミナー 2** STR時代の到来  
－ HIV/AIDSなき世代のゴールに向けて－ 座長 松下修三 (熊本大学エイズ学研究センター)  
立川夏夫 (横浜市民病院感染症内科)

KS2-1 松下修三 共催：鳥居薬品株式会社  
熊本大学エイズ学研究センター

KS2-2 Calvin Cohen ※同時通訳あり  
Director of Research at Community Research Initiative of  
New England

KS2-3 立川夏夫  
横浜市民病院感染症内科

■日時：11月21日(木) 17:00～19:00

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

**共催セミナー 3** HIV感染症と Aging 座長 岡 慎一 (国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター)  
松下修三 (熊本大学エイズ学研究センター)

KS3-1 安田宣成 共催：MSD 株式会社  
名古屋大学大学院医学系研究科  
CKD 地域連携システム講座

KS3-2 瀧永博之 ※同時通訳あり  
国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター

KS3-3 Andrew Carr  
St Vincent's Hospital and the University of New South Wales,  
Australia

# 共催セミナー

■日時：11月21日(木) 17:30～19:00

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール 2階 大会議室)

## 共催セミナー 4

セルフ・マネジメント、  
取り組むなら今でしょ！

座長 今村顕史 (がん・感染症センター都立駒込病院  
感染症科)

■パネリスト：  
医師、看護師、薬剤師、カウンセラー

共催： セルフ・マネジメント研究会 /  
ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：11月22日(金) 10:10～11:40

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

## 共催セミナー 5

日本の臨床試験は必要か  
～エジュラントを例に考察する～

座長 白阪琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療  
センター HIV/AIDS 先端医療開発  
センター)

KS5-1 瀧永博之  
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発  
センター

共催： ヤンセンファーマ株式会社

KS5-2 鯉渕智彦  
東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

KS5-3 立川夏夫  
横浜市立市民病院 感染症内科

KS5-4 矢嶋敬史郎  
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

# 共催セミナー（昼食付き）

■日時：11月20日（水） 12:00～13:00

■会場：第1会場（市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール）

共催セミナー  
（昼食付き）1

HIV感染症の新たな治療戦略  
—STR（Single Tablet Regimen）  
の役割—

座長 満屋裕明（熊本大学医学部）

LS1 岡 慎一  
独立行政法人国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター

共催： 鳥居薬品株式会社

■日時：11月20日（水） 12:00～13:00

■会場：第2会場（市民会館崇城大学ホール 2階 大会議室）

共催セミナー  
（昼食付き）2

HIV感染者のより良い生活のために  
—プロテアーゼ阻害薬への期待—

座長 松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）

LS2-1 照屋勝治  
国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター

共催： アッヴィ合同会社

LS2-2 谷口晴記  
三重県立総合医療センター

■日時：11月20日（水） 12:00～13:00

■会場：第4会場（熊本市国際交流会館 6階 ホール）

共催セミナー  
（昼食付き）3

HIV検査における最近の知見

座長 福武勝幸（東京医科大学）

LS3-1 上道文昭  
東京医科大学病院 中央検査部

共催： ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

LS3-2 今井光信  
田園調布学園大学

# 共催セミナー（昼食付き）

■日時：11月20日(水) 12:00～13:00

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館 4階 第3会議室)

共催セミナー  
(昼食付き) 4

ヒトパピローマウイルス(HPV)  
感染症と粘膜免疫、そして発がん

座長 岡田誠治 (熊本大学エイズ学研究センター)

LS4 川名 敬  
東京大学大学院 医学系研究科 生殖発達加齢医学専攻  
産婦人科学講座 生殖内分泌学分野

共催： ブリストル・マイヤーズ株式会社

■日時：11月21日(木) 12:00～13:00

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

共催セミナー  
(昼食付き) 5

初回治療レジメンの選択を  
再考する

座長 岡 慎一 (国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター)  
満屋裕明 (熊本大学医学部)

LS5-1 遠藤知之  
北海道大学大学院 医学研究科医学専攻 内科学講座  
血液内科分野

共催： ヤンセンファーマ株式会社

LS5-2 塚田訓久  
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発  
センター

■日時：11月21日(木) 12:00～13:00

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール 2階 大会議室)

共催セミナー  
(昼食付き) 6

CCR5阻害薬の使用症例と  
今後の可能性

座長 山本政弘 (独立行政法人 国立病院機構  
九州医療センター  
AIDS/HIV 総合治療センター)

LS6 南 留美  
独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター  
免疫感染症内科

共催： ヴィーブヘルスケア株式会社

# 共催セミナー（昼食付き）

■日時：11月21日（木） 12:00～13:00

■会場：第4会場（熊本市国際交流会館 6階 ホール）

共催セミナー  
（昼食付き） 7

HIV診療におけるCMV感染症  
～何をどこまでどう治療するか？～

座長 西田恭治（国立病院機構大阪医療センター  
感染症内科）

LS7 矢嶋敬史郎  
国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

共催： ノーベルファーマ株式会社

■日時：11月21日（木） 12:00～13:00

■会場：第5会場（熊本市国際交流会館 4階 第3会議室）

共催セミナー  
（昼食付き） 8

ホンネで語ろう、毎日の服薬  
～服薬アドヒアランスをいかに  
保っているか？～

座長 今村顕史（がん・感染症センター都立駒込病院  
感染症科）

LS8-1 吉野宗宏  
国立病院機構大阪医療センター 薬剤科

共催： 鳥居薬品株式会社

LS8-2 宮城京子  
琉球大学医学部附属病院 看護部

LS8-3 高久陽介  
日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

■日時：11月22日（金） 12:00～13:00

■会場：第1会場（市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール）

共催セミナー  
（昼食付き） 9

将来を見据えた  
HIV診療マネジメント  
—For the future today—

座長 天野景裕（東京医科大学 臨床検査医学講座）

LS9-1 田沼順子  
国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

共催： ヴィーブヘルスケア株式会社

LS9-2 渡邊 大  
国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター  
エイズ先端医療研究部

# 共催セミナー（昼食付き）

■日時：11月22日（金） 12:00～13:00

■会場：第2会場（市民会館崇城大学ホール 2階 大会議室）

共催セミナー  
（昼食付き） 10

HIV感染症の長期合併症予防

座長 白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター  
HIV/AIDS先端医療開発センター）

LS10-1 古賀一郎  
帝京大学医学部 内科学講座

共催： MSD 株式会社

LS10-2 照屋勝治  
国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター

■日時：11月22日（金） 12:00～13:00

■会場：第4会場（熊本市国際交流会館 6階 ホール）

共催セミナー  
（昼食付き） 11

HIV診療チームは  
地域のダイヤモンド！？  
～皆でHIV診療にきらめきを！～

座長 横幕能行（独立行政法人国立病院機構  
名古屋医療センターエイズ治療開発  
センター）

LS11-1 鶴見 寿  
岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター

共催： ヤンセンファーマ株式会社

LS11-2 矢野邦夫  
浜松医療センター感染症内科

# 日本エイズ学会認定講習会

■日時：11月20日(水) 18:00～20:00

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール 1階 大ホール)

認定講習会①  
(医師・看護師)

HIV感染症治療の手引き 第17版 座長

木村 哲 (東京医療保健大学)  
満屋裕明 (熊本大学医学部)

■演者：

木村 哲  
東京医療保健大学 学長

満屋裕明  
熊本大学医学部

鯉淵智彦  
東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

白阪琢磨  
国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

★なお、本セミナーは日本エイズ学会の医師及び看護師の認定制度における学会教育研修プログラムです。

■日時：11月22日(金) 13:10～15:10

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール 2階 大会議室)

認定講習会②  
(医師)

日和見感染症の診断と治療

座長 山本政弘 (九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター)

■講師：

「HIV感染症に合併する日和見感染症、最近の動向」  
安岡 彰  
市立大村市民病院 副院長

「日和見感染症、診断、治療の実際」  
照屋 勝治  
国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

■日時：11月22日(金) 13:10～15:10

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館 6階 ホール)

シンポジウム8(看護)  
認定講習会(看護)②

HIV陽性者にとって医療者による精神的支援とは？

座長 大野稔子 (北海道大学医学部附属病院)  
前田ひとみ (熊本大学大学院生命科学研究部看護学講座)

■演者：

S8-1) 看護者による精神的支援とは？

本城綾子  
国立病院機構 刀根山病院

S8-3)

患者有志

S8-2) 「精神的支援」ということばをめぐって  
臨床心理士が考えること

仲倉高広  
国立病院機構 大阪医療センター



# HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師講習会

■日時：11月20日(水) 17:50～20:00

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館 4階 第3会議室)

<b>HIV 感染症薬物療法 認定・専門薬剤師講習会</b>	次世代抗HIV薬の開発と臨床使用 ～現在と今後のHIV/AIDSなき世代 をめざした治療について考える～	畝井浩子 (広島大学病院 薬剤部) 座長 三隅将吾 (熊本大学大学院生命科学研究部 環境分子保健学)
------------------------------------	------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

■オーガナイザー：

木平健治  
広島大学病院 薬剤部

田上直美  
熊本大学医学部附属病院 薬剤部

■演者：

佐藤真功  
日本たばこ産業株式会社 医薬事業部国際企画部

天野将之  
熊本大学医学部血液内科学・膠原病内科学・感染免疫診療部

吉野宗宏  
独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科

総合討論

★日本病院薬剤師会の認定講習会受講単位(1単位)が付与されます。  
(予定)

※医療従事者対象の講習会となります。